

Donald McDonald House Charities Japan

Annual Report 2012

2012年 年間報告書



公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン



財団設立の趣旨

現在、難病に苦しむ子どもの数は全国で 20万人に及んでおり、その難病の子どもを持つ家族まで数えると、悩んでいる人はその数倍もいることでしょう。これらの家族は、子どもが入院すると、自宅と入院先との二重生活による経済的な負担、家族が離れて暮らす精神的苦痛など、大きな負担に悩まされることになります。

このような家族を少しでも支援するために、公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンは設立され、子どもが入院する病院の近くに家族が安心してくつろげる滞在施設を建設し、ボランティアによって運営するという活動をしています。ドナルド・マクドナルド・ハウスは世界的な広がりを持つ活動で、現在、世界には300以上のハウスがあります。

以上のように、この公益財団は、患者家族の負担を社会全体で支援する仕組みづくりに寄与することを目的としているのです。



財団の概要

名 称： 公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン

所 在 地： 東京都新宿区西新宿6丁目5番1号 新宿アイランドタワー39階

目 的： 本財団は、難病およびその家族等を支援する福祉、医療分野等におけるボランティアへの助成並びにその家族等に対し必要な施設の設置等の措置を講じ、その有効適切な運営を行うこと等により、もって地域社会における支援体制の確立に寄与することを目的とする。

事 業： ①難病児及びその家族等を支援する福祉、医療分野等におけるボランティアへの助成事業
②福祉、医療分野等におけるボランティアの国際交流、国内外研修にかかる助成事業
③前号におけるボランティア活動を振興するための普及啓発事業
④難病児及びその家族等のための滞在施設の設置、運営及び助成
⑤その他前条の目的を達成するために必要と認める事業

設 立： 平成11年4月1日

主 務 官 庁： 内閣府

1 公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンについて
Donald McDonald House Charities Japan

3 ご家族からの手紙
Letter from The Family

5 ご挨拶
Message

8 全国のハウス紹介
House Information

17 財団活動トピックス 2012
Topics 2012

25 「なごやハウス」まもなくオープン
Donald McDonald House Nagoya will Open

27 ボランティア活動
Volunteer Activities

28 助成事業および国際交流、国内外研修派遣事業
Grant & International Exchange Programs

29 家族からのメッセージ
Message from Families

31 応援メッセージ
Message from Supporters

33 決算報告
Financial Report

36 役員・選考委員名簿
Board of Directors, Councilors and Selection Members

37 サポーター紹介
Our Supporters



ご家族 からの手紙

LETTER FROM
THE FAMILY

ひねぎ たかこ
樋脇 多香子さん
娘:さやなちゃん

さやなちゃんの歩み



出生後10日
体重 1918g の愛しの我が子の誕生です。

1歳9ヶ月



現在2歳



いつも大好きなアンパンマンと遊んでいます。



生むか、それとも…の決断。

娘の心臓の病気を知ったのは妊娠中の時でした。“生むか、それとも…”それが医者から告げられた言葉でした。しかも検討の猶予はたったの1週間。時間を延ばせば、出産のリスクがどんどん高くなるとのことでした。正直、これから的生活について全く想像できませんでしたが、私も主人も「お腹の中の子どもは誰が何と言おうと二人で育てよう！」と最初から決めていました。

0%から70%に。そして未来へ！

生まれてきた我が子は、心臓や肝臓など3ヶ所の手術が必要とのことでした。出産後はいくつかの病院をまわってみましたが、どの病院でも手術は難しいと言われました。娘が1歳になった頃には、ある医者から「助かる見込みはほとんどありません」と絶望的な言葉もありました。ところが国立成育医療研究センターだけは、「まずは、お子さんを見せてください。」と言ってくださいり、検査の結果、心臓の手術が約70%の確率で成功することがわかりました。このタイミングを遅らせると、肝不全を起こして他の手術ができなくなり、助かる確率が0%に近くなるとのことでした。その話を聞いて、「今しかないんだ、可能性があるなら！」と希望を持って挑み、おかげさまで娘の心臓手術は無事に終わりました。後は肝臓移植を残すのみです。出産後はネガティブなことを考えてばかりでしたが、手術が成功してからは期待だけがどんどん膨らみ、今では娘の未来をハッキリと意識できるようになりました。

家族、そしてハウスがあるから前へ！

さやなが入院をしている期間は、主人が仕事を休んでくれています。そして二人の兄弟もハウスに滞在して、まさに“家族総力戦状態”ですね。慣れない場所に来て、兄弟たちには寂しい思いをさせていますが、ハウス内のプレイルームが充実しているので、実は私たち以上に快適に過ごしているようです(笑)。

家族の支えもそうですが、ハウスの存在自体は大いに励みになりました。何より病院に隣接しているので、掃除をする気力もないくらいへトへトに疲れて帰っても、ベッドですぐに眠れることが有り難いです。また朝出かけるときは玄関にある多くのメッセージカードに癒されました。そしてハウスでの生活に慣れてくると、他のお母さん方とのコミュニケーションも良い経験になりました。

皆も色々な悩みを抱えていて「苦しいのは、自分だけではないんだ！」といつも前向きな気持ちになれることがすごく大きかったです。ハウス全体で病気に立ち向かえるので、同じ境遇にある一人でも多くの人たちに、このハウスの存在を知ってもらいたいですね。



樋脇 多香子



公益財団法人
ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン
Donald McDonald House Charities Japan
理事長 柳澤 正義
Chairman, Masayoshi Yanagisawa

日本は少子高齢化が急激に進行し、世の中の関心は高齢者医療に集まっています。高齢者医療も問題が山積し解決への道のりは遠いですが、一方、子どもの病気がその一生を左右する重大なできごとであることを改めて認識されるようになりました。環境の変化や社会の多様化が子どもの病気にも重大な影響を与えたり、医療の進歩により、低出生体重児、悪性腫瘍、先天性心疾患、神経筋疾患、内分泌・代謝疾患、腎疾患など、小児慢性疾患を持ちながら成人にいたる患者さんが増加しており、そのような患者さんに対する適切な医療体制の整備が求められています。また、小児医療の専門分化・高度化が進むとともに、医療圈もますます広がり、病気をもつたお子さんとそのご家族は家から遠く離れた病院への入院を余儀なくされています。

また、本年度、国は子どものがん対策として全国に15の拠点病院を選定し、症例を集めて質の高い医療を効率的に提供しようとっています。そして、その選定基準に「家族等が長期滞在できる施設を有すること」という条件があり、小児の医療機関に滞在施設を持っていることが国からも求められるようになりました。

我々のハウス事業が始まって13年。社会が医療を支えるこの事業がやっと公的に広く認知されるようになってきました。それを反映するように最近はハウス建設の要望が多く寄せられるようになりました。嬉しい悲鳴を上げております。社会が医療を支えるひとつのかたちとして、ますます重要性をますますハウス事業です。

このように医療側からは熱い期待をいただいておりますが、ハウスを整備し、それを運営していくには、莫大な費用がかかります。日本マクドナルド株式会社をはじめ、多くの企業からのご寄付、個人から頂戴する浄財、マクドナルドの店舗内の募金箱に入れてくださる善意、これらすべてのお蔭でハウスは成り立っています。私たちは、約1,400人のボランティアさんとともに、病気のお子さんとそのご家族のために努力していく所存ですので、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

Japan is facing the rapidly declining birth rate and aging population and medical treatment for elderly people has been the center of attention. Many challenges lie ahead in elderly medical care and it will take time to solve all these problems.

This fiscal year, the Japanese government will select 15 hospitals in the country and start collecting data as part of efforts to help beat pediatric cancer, with the aim of providing advanced, high-quality medical care to patients more efficiently. One of the selection criteria is that the hospitals must have a facility in which families of children can stay for an extended period. The pediatric hospitals will be required to have accommodations for families of children under the government standards.

13 years have been passed since the first Donald McDonald House, "Setagaya House," was constructed in Japan. This operation – medical care supported by society – has become more widely recognized by the general public. As a result, we have been receiving many more requests for opening additional Houses from all over the country, which we are very proud of and excited about. The House operation is becoming more important than ever as an example of medical care supported by a society.

Medical professionals have high hopes for our operation, and yet it takes enormous cost to develop and operate the Houses. We can keep operating the Houses thanks to donations from McDonald's Japan and many other companies and individuals as well as good-will contributions to donation boxes in McDonald's restaurants.

We will keep doing our best to support sick children and their families with some 1,400 volunteers and would greatly appreciate your continuous support and assistance.



公益財団法人
ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン
Donald McDonald House Charities Japan
専務理事 廣瀬 修
Chief Executive Director, Osamu Hirose

日本ではドナルド・マクドナルド・ハウスの数がどんどん増え、今では国内8カ所にハウスがあります。さらに小児病院や地方自治体より建設・運営のお申し出をいただいており、世の中に「ドナルド・マクドナルド・ハウス」の存在が広まり必要性を感じていただけていることを大変嬉しく思っております。今では小児医療にとってハウスはなくてはならない存在になったと感じております。

1974年にアメリカで始まったこの活動も40年近く経った今、世界中に拡がっておりハウスの数も32カ国324カ所にまで増えてしまいました。日本でもこの10年で急速に成長を遂げ、世界の中でも大きな存在となって参りました。

ハウスを開設するには莫大な費用がかかりますが、ご存知の通りすべて企業や個人の寄付で賄われております。最近では、ハウスを誘致する病院や自治体が中心となって積極的に寄付を集めてくださっており、地域への広報活動を行うとともにみんなでハウスを誘致し建設しましょうという雰囲気が高まっています。これは欧米のハウス開設時と非常に似ていて、開設後に地域に愛されるハウスとなり地元のボランティアへの協力も得られやすく、日本でもいよいよ欧米に似てきたなと実感しております。

さらに日本のチャリティー文化、ボランティア文化を飛躍させるために、私たちができるることは何かを考えこれからの活動の方針性を検討する時期に入ってきた。以前から申し上げているように、この活動をより成長させていくためには、まだまだ充分ではない分野があると考えます。今後はこのハウスの運営だけでなく、小児医療全般を考え必要としている支援を推し進めていき、活動の幅を広げて支援活動を継続していきたいと考えております。

永年にわたって子ども達への福祉活動に携わってきましたが、未来を担う子ども達が元気で活き活きとした姿を見るのは本当に喜びです。これからも微力ではありますが困難な状況の子ども達のために精一杯頑張ってまいります。今までご協力ご支援いただいた多くの皆様に厚くお礼を申し上げるとともに、今後とも変わらぬご支援ご協力を賜りますようよろしくお願ひいたします。

In almost 40 years its foundation in the U.S. in 1974, Ronald McDonald House Charities expanded its activities globally and now 324 Houses operate in 32 countries. Donald McDonald House Charities Japan opened 8 Houses in the past decade in Japan and has become an important presence in the world.

It involves enormous cost to build a House, as the cost is paid with donations from companies and individuals. In recent years, hospitals and local governments inviting DMHC to operate Houses in their communities are actively raising funds and conducting local PR activities that have been creating a momentum for united efforts to invite and build a House. This is a great phenomenon, and I realize that Japan's charity environment has come close to those Western countries as Houses are loved by local community and local volunteers now can gain the cooperation from their communities more easily.

We now need to consider what we can do to elevate Japan's charity and volunteer cultures and seek for a future direction. As I have said repeatedly, we still have inadequacies to overcome to further grow DMHC activities. In addition to the operation of the Houses, we intend to promote our support with a view to pediatric care in general and continue providing extensive supporting activities.

I have been involved in activities for children's welfare for many years and it has been always great pleasure to see healthy and lively children. I will continue to do my best to support children in difficulties. I would like to express my sincere gratitude to everyone who provided cooperation and support and would appreciate your continued assistance and cooperation.



名古屋大学大学院腎臓内科学教授、
名古屋大学医学部附属病院前病院長

Vice President, Nagoya University Professor, Department of Nephrology,
Nagoya University Graduate School of Medicine

松尾 清一

Seiichi Matsuo

名古屋大学医学部附属病院では2013年11月竣工を目指して着々と準備が進んでおり、名古屋大学職員や名大病院で治療を受けている子どもたちのご家族だけでなく、多くの医療関係者や市民の間で期待が高まっています。なごやハウスの建設が2011年度に決定されて以来、地元を挙げて準備に取り組んでまいりました。

大きな柱は3つあります。第一に、がん治療を受けている子どもたちにはご家族による療養支援が必須ですが、その環境が極めて悪い現状を多くの市民の方に知っていただく活動です。大村愛知県知事、河村名古屋市長、女優の竹下景子さん、などにも積極的な応援をいただき、本事業に対する理解が相当高まったのではないかと思っています。第二は建設に必要な募金ですが、市民の関心は大変高く善意の寄付が多く寄せられています。市民だけではなく、愛知県医師会や地元医師会から多くの寄付をいただいている。

これは、なごやハウスが単に名大病院の施設であることを超えて、広く愛知県をはじめとする東海地区の公共的な財産として活用してほしいという期待の現れではないかと思っています。第三は本事業の中核的なコンセプトであるボランティア文化の確立です。ハウスの建設が決定したときから、名大医学部保健学科の教員、学生などが中心になり「おうちプロジェクト」を立ち上げてくれました。当面は市民への啓発活動や募金活動を、またハウス完成後はボランティアとしてハウスの運営に継続的にかかわるということで、名古屋大学のサークルとしても正式に認められました。名大以外の学生も加わりその輪が広がっています。この地域のボランティア文化の醸成に大きな役割を果たすことを期待しています。

以上のように、なごやハウスへの関心と期待は一層高まっており、なごやハウス実現に大変大きなご支援をいただいております。ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンの関係者の皆様には心から御礼を申し上げます。

In Nagoya University Hospital, preparations for completion of DMH Nagoya in November 2013 are well under way and there is a growing sense of hope not only among the hospital staff and families of children who are receiving treatment at the hospital but also among many medical experts and Nagoya citizens.

Since the decision to construct DMH Nagoya was made in 2011, the entire local community has engaged in preparations for its opening. Their efforts have been supported mainly by the following 3 pillars. Firstly, children receiving cancer treatment need support of their families, and various activities have been conducted to inform as many citizens as possible that the families are forced to stay in very poor environments to stay with the children. Governor of Aichi Mr. Omura, Mayor of Nagoya City Mr. Kawamura, actress Ms. Keiko Takeshita and other supporters have provided aggressive supports which I believe enhanced the public understanding of this project significantly. Secondly we need a fund to build the House, and thank to Nagoya citizens' high interest in the project, we have received goodwill donations from many citizens as well as The Aichi Medical Association and other local medical societies. It means that they expect the House to be utilized extensively not just as one of Nagoya University Hospital's facilities but as a public asset of the Tokai Region including Aichi Prefecture. Thirdly, we need to establish a volunteer culture, the core concept of this project. Since it was decided to build the House, teachers and students of the School of Health Sciences, Nagoya University's Graduate School of Medicine, have played leading roles in establishing the "Ouchi (home) Project". The project has been approved by the university as an official group of the university to conduct activities to dissemination of knowledge of the DMH's activities and raise funds for the time being, and to continuously be involved on the operation of the House as volunteers after completion of the House. The network of these activities has been expanding with involvement of students of other colleges and universities. I expect the group to play a prominent role in creating a volunteer culture in this area.

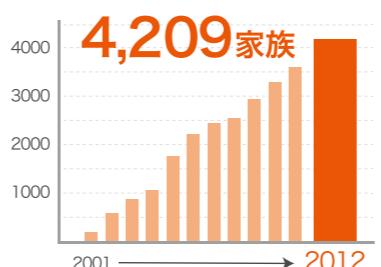
As described above, public interests in and expectations for DMH Nagoya have been increasing. I would like to express my genuine gratitude to everyone involved in the DMHC that have provided considerable assistance for the establishment of DMH Nagoya.

■ ハウスは全国8カ所

■ 2013年に
なごやハウスOPEN



■ 2012年
利用家族数



■ 2012年
利用家族総宿泊数



■ 2012年
ボランティア合計時間数



House information

全国のハウス紹介

ドナルド・マクドナルド・ハウス

せたがや

〒157-0074 東京都世田谷区大蔵2-10-10
Tel.03-5494-5534 Fax.03-3749-2267



施設概要

2001年12月に誕生した国内第1号の「せたがやハウス」は国立成育医療研究センターに隣接して建てられました。小児ベッド数が490床ある国立成育医療研究センターには、全国各地から患者が入院または通院しています。

2012年実績

- 利用家族数：758家族 ■総宿泊数：6,710泊
- 平均滞在日数：9.0日 ■ボランティア登録者数：177名
- ボランティア活動時間数：14,335時間

ハウス情報

- 延べ床面積：1,744.29m²
- 規模：地上4階建て、地下1階
- ベッドルーム数：21室

収支報告 (単位:円)

収入	支出
利用料	10,349,009
寄付金収入	2,872,169
会費収入	1,331,000
その他	47,539
財団補助額	14,224,076
合計	28,823,793
合計	28,823,793

Message

2012年4月より国立成育医療研究センター理事長に就任しました。3月までは東京大学医学部小児科に在籍しておりました。私の在任中に東京大学医学部附属病院の敷地内にハウスとしては8番目にあたる「東大ハウス」を作り、患者さんとご家族のためのご支援を戴いておりました。この度、国立成育医療研究センターは厚生労働省から小児がん拠点病院の一つに指定されました。血液疾患・悪性腫瘍の患者さんの入院数が今後増加することが予想されます。せたがやハウスは現在でも利用者で一杯の状態ですので、今後増築について真剣に検討する必要があります。今後とも患者さんとご家族のご支援をお願い申し上げます。



国立成育医療研究センター
理事長 五十嵐 隆

ドナルド・マクドナルド・ハウス

せんだい

〒989-3126 宮城県仙台市青葉区落合4-5-3
Tel.022-391-1233 Fax.022-392-5535



施設概要

2003年11月に誕生した国内第2号の「せんだいハウス」は宮城県立こども病院のそばに建てられました。こども病院は160床あり、ハウスは主に東北地方からの患者家族が利用しています。

2012年実績

- 利用家族数：1,049家族 ■総宿泊数：3,589泊
- 平均滞在日数：3.4日 ■ボランティア登録数：190名
- ボランティア活動時間数：15,351時間

ハウス情報

- 延べ床面積：1,679.36m²
- 規模：共有棟（平屋建て）、宿泊棟（2階建て）
- ベッドルーム数：16室

収支報告 (単位:円)

収入	支出
利用料	5,233,000
寄付金収入	3,714,062
会費収入	1,062,000
その他	413,750
財団補助額	15,229,852
合計	25,652,664
合計	25,652,664

Message

わたしが、ハウスの存在を知ったのは友人がハウスのボランティアを始めたのがきっかけでした。友人の声掛けで、陶芸家さんたちとも繋がり2012年9月にハウスの支援チャリティー展を開催することができました。多くの方にご来場いただき、人の輪がさらに大きく広がったことはわたしにとっても、大きな喜びであり驚きでした。今後もこの出会いを大切に、定期的にチャリティー展を企画させていただければと思っています。



仙台 南町通り
オープンギャラリーくろすろーど
黒須 敦子

House information

全国のハウス紹介

ドナルド・マクドナルド・ハウス

こうち

〒781-0111 高知県高知市池 953-10
Tel.088-837-3650 Fax.088-837-3652



施設概要

2005年2月に誕生した国内第3号の「こうちハウス」は同時期に開院した高知医療センターのそばに建てられました。高知医療センター内には母子医療センターがあり、ハウスには小児の患者家族が宿泊しています。

2012年実績

- 利用家族数：329 家族 ■総宿泊数：1,148 泊
- 平均滞在日数：3.5 日 ■ボランティア登録者数：82 名
- ボランティア活動時間数：11,776 時間

ハウス情報

- 延べ床面積：1,180.72 m²
- 規模：平屋建て
- ベッドルーム数：16 室

収支報告 (単位:円)

収入		支出	
利用料	1,589,000	給料手当	8,028,633
寄付金収入	717,208	水道光熱費	3,014,431
会費収入	474,000	租税公課	139,500
その他	186,375	その他	3,989,758
財団補助額	12,205,739		
合計	15,172,322	合計	15,172,322

Message

2012年4月より高知医療センター病院長として「こうちハウス」の運営に参加させていただいている。運営委員長として身近にハウスと接するにつけ、医療と社会が密接に協力おしあうことは病気のお子さんとご家族にとって大変重要なことであることを再認識しています。日本で3番目にできた折角のハウスですので、もっと大勢の方々に知っていたいと思うよう、病院全体でさらなる広報活動をおこなっていきたいと思います。



高知医療センター
病院長 武田 明雄

ドナルド・マクドナルド・ハウス

おおさか・すいた

〒565-0875 大阪府吹田市青山台 4-31-20
Tel.06-6836-6551 Fax.06-6831-7611



Message

我々のハウスへ歩いて5分少々の距離にあるので、勝手ながらそう呼ばせていただきます。昨年7周年を迎えます。元気いっぱいです。心疾患だけではなく、例えば心臓病を持ったハイリスクの妊婦さんの支援もいたしました。ハウスのボランティア活動は、よい医療を受けたいという患者さんの想いと、最高の医療を提供したいという医療者側の想いの2つの輪を繋ぐ第3の輪です。そしてこの輪は和みの「和」ともなっています。これからもよろしくお願いします。



国立循環器病研究センター
病院長 内藤 博昭

施設概要

2005年10月に誕生しました国内第4号の「おおさか・すいたハウス」は、国立循環器病研究センターの向かい側に建てられました。国立循環器病研究センターには、全国から心臓病の患者が入院または通院に来ています。入院患者の家族の宿泊場所がなく困っていたことから病院および自治体からハウス建設の依頼を受け、建設が実現しました。

2012年実績

- 利用家族数：595 家族 ■総宿泊数：4,995 泊
- 平均滞在日数：8.4 日 ■ボランティア登録者数：129 名
- ボランティア活動時間数：14,092 時間

ハウス情報

- 延べ床面積：1,292.88 m²
- 規模：共有棟（平屋建て）、宿泊棟（2階建て）
- ベッドルーム数：18 室

収支報告 (単位:円)

収入		支出	
利用料	6,873,000	給料手当	8,654,626
寄付金収入	3,570,523	水道光熱費	4,792,649
会費収入	1,320,000	租税公課	3,997,040
その他	1,030,287	その他	4,039,067
吹田市補助金	2,757,100		
財団補助額	5,932,472		
合計	21,483,382	合計	21,483,382

House information

全国のハウス紹介

ドナルド・マクドナルド・ハウス

とちぎ

〒329-0434

栃木県下野市祇園2-36-3 自治医大2号館3階
Tel.0285-58-7551 Fax.0285-44-4154



施設概要

2006年9月に誕生しました国内第5号の「とちぎハウス」は自治医大とちぎ子ども医療センターの向かい側に開設されました。とちぎハウスは、自治医科大学の建物の一部を無償でお借りし、県の補助金を使って大学側に内装整備していただいたニューモデルのハウスです。

2012年実績

■利用家族数：381 家族 ■総宿泊数：2,141 泊
■平均滞在日数：5.5 日 ■ボランティア登録者数：210 名
■ボランティア活動時間数：13,384 時間

ハウス情報

■延べ床面積：652.9 m²
■規模：3階建ての3階部分
■ベッドルーム数：7室

収支報告 (単位:円)

収入	支出
利用料	2,771,000
寄付金収入	3,361,019
会費収入	816,000
その他	207,633
運営費負担金	3,091,000
財団補助額	3,010,687
合計	13,257,339
合計	13,257,339

Message

開設以来全国から2,000を超えるご家族にご利用頂き、たくさんの感謝の言葉がハウスには寄せられています。ひとえに皆様のご支援の賜と、心より感謝申し上げます。しかしその一方で、満室のためにお断りせざるを得なかったご利用者が2012年の1年間だけで96家族ありました。一家族でも多くの方々に利用していただきたために、増室を計画しています。皆様のご支援が一層必要になります。今まで以上に、どうぞよろしくお願い申し上げます。



自治医大とちぎ子ども医療センター
センター長 相原 敏則

ドナルド・マクドナルド・ハウス

さっぽろ

〒006-0041 北海道札幌市手稲区金山1条1丁目2-5
Tel.011-688-4533 Fax.011-691-8866



施設概要

2008年12月に誕生しました国内第6号の「さっぽろハウス」は北海道立子ども総合医療・療育センター(通称：コドモックル)の向かい側に開設されました。コドモックルは210床あり道内からの患者家族が利用しています。

2012年実績

■利用家族数：544 家族 ■総宿泊数：2,521 泊
■平均滞在日数：4.6 日 ■ボランティア登録者数：242 名
■ボランティア活動時間数：15,997 時間

ハウス情報

■延べ床面積：994.2 m²
■規模：平屋建て
■ベッドルーム数：10室

収支報告 (単位:円)

収入	支出
利用料	3,886,000
寄付金収入	2,057,166
会費収入	401,817
その他	138,190
財団補助額	10,444,186
合計	16,927,359
合計	16,927,359

Message

ドナルド・マクドナルド・ハウス さっぽろは、全道各地から北海道立子ども総合医療・療育センターへ入院、受診されている患者さんやそのご家族にとって、なくてはならないものとなっています。ハウスマネージャーをはじめ、ボランティアの皆さんには、非常に居心地の良い空間をいつも提供して頂きありがとうございます。これからも、どうぞ宜しくお願ひいたします。



子ども総合医療・療育センター
センター長 鈴木 信寛

House information

全国のハウス紹介

ドナルド・マクドナルド・ハウス

ふちゅう

〒183-0042 東京都府中市武蔵台2丁目9-2
東京都立多摩・小児総合医療センター宿泊棟1階
Tel.042-300-4181 Fax.042-325-2266



施設概要

2010年3月、東京都府中市に国内第7号の「ふちゅうハウス」がオープンしました。東京都立小児総合医療センターの隣接地に建てられたハウスは、東京都の宿舎棟の1階部分を無償でお借りし、12家族が滞在可能です。

2012年実績

■利用家族数：305家族 ■総宿泊数：2,663泊
■平均滞在日数：9.0日 ■ボランティア登録者数：132名
■ボランティア活動時間数：11,230時間

ハウス情報

■延べ床面積：688.3m²
■規模：5階建ての1階部分
■ベッドルーム数：12室

収支報告（単位：円）

収入	支出
利用料	3,528,000
寄付金収入	4,381,801
会費収入	228,000
その他	397,875
財団補助額	3,081,458
合計	11,617,134
合計	11,617,134

Message

ふちゅうハウスは、武蔵野の森の残る多摩メディカルキャンパスの中にあります。小児総合医療センターや神経病院で治療を受けている子ども達を支えるご家族や、遠方から入院されている子どもの外泊、また夜間の緊急入院等、不安がいっぱいの中でもハウスの存在はとても心強く、家庭的な雰囲気でほっと寛げる場所（ハウス）です。またボランティアの方々の「お帰りなさい」という温かい言葉によってご家族も元気をもらい、また子どもと一緒に病気に立ち向かう力がわいてくると思います。私たち病院の職員も、子どもたちが安心して治療を受けられるように、またご家族と共に前を向いていけるようにボランティアの方々と力を合わせて、子どもたちやご家族を支えていきたいと思います。



都立小児総合医療センター
看護部長 馬渡 法子

ドナルド・マクドナルド・ハウス

東大

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 東大構内
Tel.03-3812-9877 Fax.03-3812-9688



施設概要

2011年12月、日本で最初のハウスが誕生して10年を記念して、東京大学構内に国内第8号の「東大ハウス」がオープンしました。東京大学医学部附属病院の隣接地に建てられたハウスは、4階建てで12家族が滞在可能です。

2012年実績

■利用家族数：248家族 ■総宿泊数：1,744泊
■平均滞在日数：6.4日 ■ボランティア登録者数：243名
■ボランティア活動時間数：13,530時間

ハウス情報

■延べ床面積：974.64m²
■規模：4階建て
■ベッドルーム数：12室

収支報告（単位：円）

収入	支出
利用料	2,555,000
寄付金収入	2,046,955
会費収入	543,000
その他	126,606
運営補助金	4,023,111
財団補助額	15,869,256
合計	25,163,928
合計	25,163,928

Message

「ドナルド・マクドナルド・ハウス 東大」は、東大病院に入院・通院するお子さんやご家族、そして職員の夢をのせて2012年1月25日に利用が開始されました。この1年間で北は青森、南は沖縄そして海外からのご利用があったと聞いています。お子さんやご家族が、どんなに安心し支えられているかわかりません。ハウスの運営に関わって下さっている皆さん、そしていろいろな形でご支援くださる皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。



東京大学医学部附属病院
看護部長 小見山 智恵子

『おかわりくん』ハウス訪問

1月25日(水)、東大ハウスで初めてのご家族を迎える日に、埼玉西武ライオンズ「おかわりくん」こと中村剛也選手が、一昨年のせたがやハウスに続き、東大ハウスを訪問してくださいました。中村選手は他のハウスを利用した患児と野球の好きな子ども達と一緒に楽しい時間を過ごしました。チームのマスコット「レオ」も一緒に駆け付け大人気でした。東大ハウス開設の日は忘れられない記念日となりました。



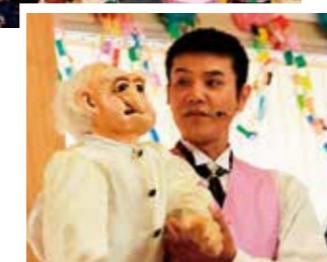
岩隈投手、3度目の訪問

12月24日(月)のクリスマスイブにシアトル・マリナーズで活躍している岩隈久志投手がせんだいハウスを訪問してくれました。楽天時代よりハウスを支援している岩隈投手はハウスに滞在した子ども達20名とクリスマスのオーナメントを作成してくれました。オーナメントに書かれた子どもの夢を見た岩隈選手は、みんなの夢が叶うようにとツリーへの飾りつけと一緒にしてくれました。メジャーで活躍する岩隈投手の訪問に子ども達は大感激でした。



いっこく堂 チャリティーライブ開催!!

7月21日(土)、腹話術師として活躍されているいっこく堂さんがせんだいハウスでチャリティーライブを開催してくれました。当日は152名がハウスに集まり、被災地からのご家族と患者さん、ボランティアの前で素晴らしい腹話術を披露してくださいました。この日は子どもから大人まで多くの笑いに包まれ、いっこく堂さんは「子ども達が楽しんでくれて、たくさんの笑顔が見られて本当に良かった。」との言葉を残してくれました。今回のチャリティーライブで集まった募金は総額241,700円。すべてせんだいハウスの運営費に使わせて頂きました。



石井竜也さんトークショー

11月25日(日)、アーティストの石井竜也さんがハウスを利用された患者とご家族向けにせんだいハウスにて、トークショーを行いました。2005年におおさか・すいたハウスを訪問されて以来、二度目のハウス訪問となります。石井さん自身の幼少の頃の実体験を交えつつ、子ども達へのメッセージ、病気の子どもを支えているご家族へのメッセージを送ってくださいました。トークショーの最後には、「ヒハマタノボル」を歌ってみんなに勇気を与えてくれました。





オープンハウス開催 !!

一人でも多くの方にハウスを見て欲しい！知ってほしい！と各地のハウスにてオープンハウスが開催されました。どのハウスも多くの方々に来場いただき、合わせて3,700人以上が来場され260万円以上の募金が集まりました。

せたがやハウス

10月20日(土)、21日(日)に開催。
学生企画によるゲーム大会で子ども達は楽しみました。



こうちハウス

5月20日(日)～6月10日(日)に開催。
ボランティアが育てている立派なさつきも展示され多くの方に見ていただきました。



さっぽろハウス

11月17日(土)、ハウスに隣接している稲穂高等支援学校の学校祭とコラボし開催されました。



ふちゅうハウス

10月13日(土)、隣接している都立看護学校の文化祭と同時に開催し、ボランティア有志によるチャリティーバザーが好評でした。



おおさか・すいたハウス

10月20日(土)に開催。
支援企業によるチャリティー販売が大好評でした。



とちぎハウス

12月15日(土)にクリスマス会と同時に行われ、ドナルドも駆けつけてくれました。



東大ハウス

5月19日(土)、20日(日)と10月27日(土)、28日(日)の2回にわたり開催。5月は東京大学の五月祭と合わせ、地域のみなさんや病院関係の方が多く来場しました。



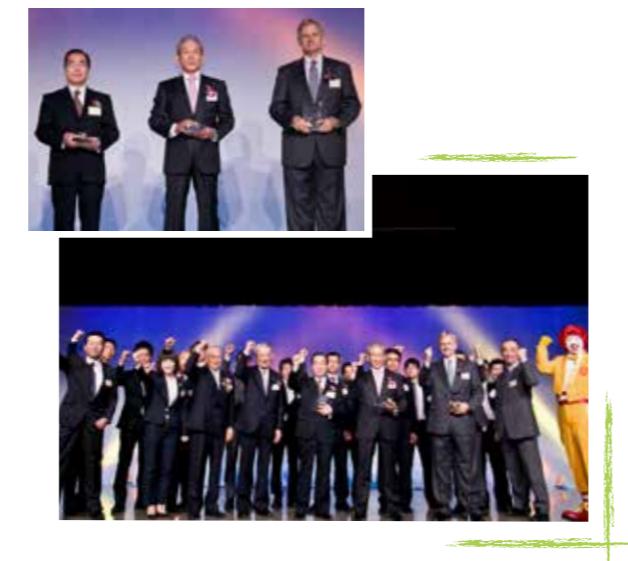
初のシンポジウム開催

11月21日(水)、当財団主催のシンポジウム「日本の子どもは幸せか?安心して産み育てることができる社会とは」を開催しました。俳優の石田純一さん、シンガーソングライターのより子さんをゲストにお招きし、東京大学大学院医学系研究科小児外科学教授の岩中教授にご参加いただき、小児医療を取り巻く現状などをお話をいただきました。お子さんが生まれたばかりの石田純一さん、幼少のころ闘病生活を送っていたより子さん、小児外科医の岩中先生などさまざまな立場の意見を聞くことができとても有意義なシンポジウムとなりました。なおプロデューサーである残間里江子さんにシンポジウムを考案していただき、当日のコーディネーターなどご協力いただきました。



チャリティーパーティー

10月31日(水)、毎年恒例のチャリティーパーティーが開催されました。ハウスを支援してくださっている企業や医療従事者をご招待し、お礼を述べると共に継続的なご支援をお願いしました。今年は、500名近くの方にご参加いただき、540万円以上のご寄付をいただきました。



第14回 ドナルド マクドナルドハウス チャリティゴルフ

12月10日(月)、ハウスの支援を目的としたチャリティーゴルフが戸塚カントリー倶楽部にて開催されました。深堀圭一郎プロや諸見里しのぶプロなど、著名なプロも参加し大会は年々広がりを見せています。今年は40名のプロゴルファーを含め、160名の方が参加され、820万円の寄付を頂戴しました。



大阪西南ロータリークラブの支援

12月5日(水)、大阪西南ロータリークラブよりベッドのマットレス10枚を寄贈していただきました。長年使用していたせいか、利用家族からベッドが堅い、ゆっくり休むことができないと感じる利用者もあった中、今回寄贈していただいたマットレスは堅さもソフトとハードの両面使用になっているため、お好みに合わせて使え利用者からも好評です。



横浜みなとみらいホールでの活動

日本マクドナルド株式会社が協賛している横浜みなとみらいホールでは、年間を通じて講演のパンフレットにハウスの告知を掲載し周知活動に協力してくださっています。1年間で40万枚のパンフレットが配布されました。またホールのロビーにハウスのパネルと募金箱を設置し、来場されたお客様に募金の呼びかけを行いました。



ハウスの強い味方！ゆでたまご先生

「キン肉マン」の作者としておなじみの漫画家、ゆでたまご先生がハウスの活動に賛同してくださり、オリジナルで作画されたパネルを東大ハウスに寄贈して下さいました。キン肉マンが白衣を着て、聴診器をさげ「少しでも病気と闘う子どもたちとそのご家族に勇気を与えられれば…」とゆでたまご先生の想いをこめてくださった作品です。



ラオスからの患者

産経新聞のあけみちゃん基金によって、ラオスからパンナレット君が心臓病の手術のために来日し、国立成育医療研究センターに入院しました。その間、パンナレット君の家族がせたがやハウスに滞在し、看病に付き添いました。慣れない異国での生活をボランティアがサポートし看病に専念できる環境を提供しました。日本滞在中に7歳の誕生日を迎えたパンナレット君の誕生日パーティーをハウスで行い、ハウスそしてパンナレット君にとっていい思い出になっています。



ホームページの リニューアル&twitter 開始

より見やすく、より共感を得られるようにホームページをリニューアルしました。更に、ハウスの認知度を高めるために1月よりtwitterを開始しました。1年間でフォロワー数が400名近くに増え、毎日ハウスで起こっている出来事などを情報発信しています。

□ ホームページ : <http://www.dmhcj.or.jp>
■ twitter : @dmhcj



支援してくださっている学生団体

■マイハウス

滞在家族のためにハウス内に掲出する壁新聞を作ったり、東大ハウスのオープンハウスで「サイエンスライブショー」を実施したり、さらに地域のイベントなどで募金活動もしています。



■ユニコーンズ

慶應義塾大学のアメリカンフットボールチーム。ドナルド・マクドナルド・ハウスの発祥のきっかけがアメリカンフットボールという縁で、定期的に清掃活動を行っています。



■広瀬高校

せんだいハウスに隣接している広瀬高校の学生は定期的にハウスに来て清掃活動を行っています。野球部の部員は、雪が降ると毎日のように来て、歩きやすいように雪かきをしています。



■せんだいハウス学生支援団体 2

東北福祉大学の学生が中心となっているサークル。募金の呼びかけなどハウスのイベント時にサポートしています。



■北海道小樽高等支援学校、北海道稲穂高等支援学校

どちらの学校も定期的に生徒がさっぽろハウスに来て清掃を行い、さらに家族が利用できる買い物袋や雑巾を作成し、サポートしています。



なごやハウスが2013年11月にオープン!!

■おうちプロジェクト

名古屋大学医学部の学生を中心に発足した学生支援団体「おうちプロジェクト」は、なごやハウスの設立から運営に至るまで様々なバックアップを行うために組織されました。開所までTwitterで情報発信を行って周知をしたり、街頭募金を行い、地元を盛りあげています。



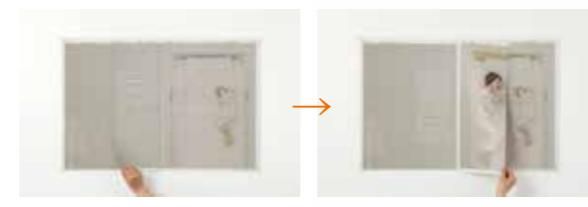
■ドナルド・マクドナルド・ハウス なごや 募金委員会

なごやハウス建設のため募金委員会が組織されました。名古屋大学医学部附属病院の松尾清一病院長（当時）が発起人代表となり、愛知県の大村知事や名古屋市の河村市長も発起人として活動に参加されています。2億円を目標に地元で寄付の呼びかけを行っています。



■朝日新聞にて45段広告

朝日新聞の協力のもと、なごやハウスの建設と寄付の呼びかけを行う広告を掲載していただきました。この広告が愛知広告協会賞（愛知県在住のクリエーターを対象とした広告賞）の中で愛知県知事賞のグランプリを受賞しました。



■CM制作での支援

より多くの人にハウスの必要性を知ってもらい、多くの募金を集めるために「息子のもとへ」というCM映像を作成していただきました。電通中部支社・エジソンライトハウスはじめ、多くの名古屋在住のクリエーターの協力で完成しました。



■小児がん医療を考えるシンポジウム

2011年2月27日(日)、小児がん医療の実際を知り、病と闘う子どもと家族の支援を考えるシンポジウムが名古屋大学医学部附属病院で開催されました。パネリストには名大病院の小島教授、若林教授をはじめ、女優の竹下景子さん、患者家族の方も参加されさまざまな立場での意見や説明などがありました。またこの中でドナルド・マクドナルド・ハウスの取り組みも紹介されました。



ミールプログラムは滞在家族への食事提供を行うボランティア活動です。企業や団体で参加していただき、ミールプログラムを通じてハウスの活動を理解し、支援いただいている。食材の買い出しから片付けまですべてを行い、滞在家族の人数分の食事を調理します。病院の付き添いから帰ってきてすぐに温かい食事が食べられると好評です。



実施した企業・団体

グラソ・スミスクライイン株式会社
株式会社グランツ
コヴィディエン・ジャパン株式会社

株式会社札幌フードシステム
三菱UFJ信託銀行
南河内サッカースポーツ少年団

明治安田生命
Cooking Knights
Tokyo Women's Concierge
(50音順)

滞在家族からのメッセージ

おいしいご馳走をたくさんありがとうございました。
毎日病院との往復で少々疲れ気味でしたが、今夜はモリモリ食べてまた明日から頑張れます。

ボランティアさんによる夕食が凄く嬉しくて、又美味しいかったです。母乳出しているので、食事も適当といかず、でも病院の行き来とで買い物までなかなかできないことが多いので、非常に助かりました。

ボランティアさんによる夕食の準備提供はとても助かりました。そして、とてもおいしかったですし、2種類のカレーが用意されていてびっくりしました。さらに、サイドメニューとしてのサラダまであって選べるドレッシングもあってと温かい気遣いが嬉しかったです。本当にありがとうございました。

ボランティア活動費の助成

難病児およびその家族を支援する福祉、医療分野におけるボランティアへの助成事業を行い、2012年度は12団体に助成をしました。

助成先	助成金額
NPO 法人あっとオーティズム	200,000 円
一般社団法人 Kukuru	200,000 円
NPO 法人子どもの村 Kyoto	200,000 円
ささゆりの会	200,000 円
NPO 法人支援機器普及促進協会	200,000 円
特定非営利活動法人スマーリングホスピタルジャパン	200,000 円
一般社団法人スマイルゲート	200,000 円
なかのアクション	200,000 円
パラスポーツ事務局	200,000 円
筑紫野市「障害」児・者問題を考える会	150,000 円
特定非営利活動法人クックルー・ステップ	100,000 円
ほっとサロンひなた	100,000 円
助成総額	2,150,000 円

助成先からの報告

私たちは長期入院児や治療のためにベッドから出られない子ども達へ、楽しい時間と笑いあふれる活動を提供することで辛い治療や長期の活動制限、ストレスや不満を取り除き子どもたちが明るく前向きに闘病意欲を持ち続けられるよう活動をしています。今回の助成金で活動回数を増やすことができ、子ども達からは「今度はいつ来るの?」「楽しかった」、医療者や保護者からは「病棟が明るくなった」「子どもの生活にはりがでた」などの感想をいただいております。今後も子ども達が闘病への活力を得られるよう、日々の活動を丁寧に子ども達に寄り添っていきたいと考えています。ありがとうございました。

特定非営利活動法人スマーリングホスピタルジャパン
代表理事 松本恵里



Messages from Families 家族からのメッセージ



石井 さやか
石井 早弥香ちゃん

8歳 兵庫県 せたがやハウス

肝移植を無事に終え、やっと学校に通い始めました。嵐のコンサートに行くことが今のお夢です。ハウスでは子どもの近くで寝れたので、安心するとともにとても助かりました。お正月にボランティアさんがおせち料理をふるまってくださいり、親子とも、とても嬉しく思いました。



大浦 りょういち
大浦 諒一くん

1歳 香川県 さっぽろハウス

入院していた頃は不安もありましたが、今では毎日イタズラ三昧で賑やかに走り回っています。ハウスのキッチンでは自宅、ダイニングではママ友さんのお家、お部屋や受付ではホテルの気分で、とても快適でした。他のご家族とのふれあいで孤独を感じず、夜はゆっくり眠れたので、看病疲れがほとんど気になりませんでした。



菅原 のぞみ
菅原 希ちゃん

5歳 千葉県 とちぎハウス

入院時はお母さんがいないので嫌と泣いていた娘も病院の窓からハウスを見て「お母さんはあそこで寝るんだね」と安心した様子で、泣かなくなりました。ハウスのおかげで朝から晩まで娘のそばにいることができました。今では定期的な通院をしながらも娘は元気に幼稚園に通っています。



竹原 るい
竹原 瑞生くん

1歳 大阪府 おおさか・すいたハウス

体も小さくて、発達も遅いのですが、最近よく食べるようになったり、よく笑ったり、座った状態ですが自分で移動することもできるようになりました。ハウスに滞在したときは、とてもきれいで広くて嬉しくなりました。ダイニングに行くと、寄付でミネラルウォーターやコーヒーなどが置いてあったので、人の優しさに感動しました。また、ボランティアの方が声をかけてくださったので、温かい気持ちになりました。



田中 はるま
田中 陽真くん

1歳 栃木県 とちぎハウス

心臓の根治手術に向け通院はしていますが、日常生活では元気に活発に過ごしています。ハウスでは子どもの近くにいられるので、家族全員にとって精神的にも経済的にも非常に助かりました。また、同じく闘病中のお子さんをもつお母さんと知り合う場もあり、気を紛らわすことができました。



戸澤 りょう
戸澤 諒くん

3歳 長野県 せたがやハウス

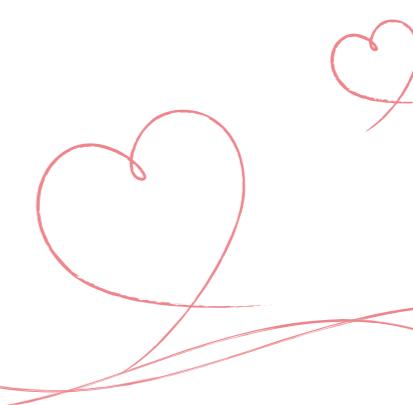
去年までは3ヶ月に一度の通院でしたが今年からは半年に一度の通院になるので少し楽になります。片目が見えてないのですが、そんな事をちっとも感じさせず明るく元気に毎日を過ごしています。ハウスでは全ての物が揃っているし、施設も綺麗で充実していました。

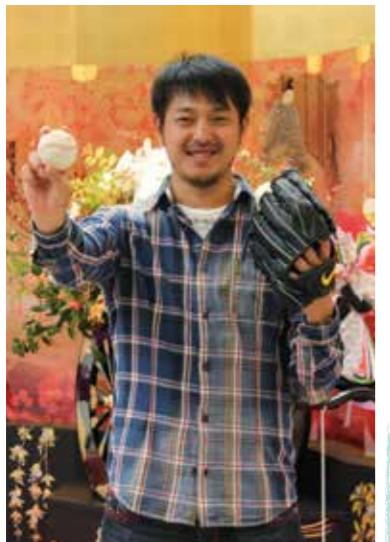


深田 そうた
深田 蒼太くん

1歳 茨城県 せたがやハウス

入院時は寝返りもできないほど衰弱していましたが、今は歩き、走り、笑っています。人よりゆっくりペースですが、ちゃんと成長しています。入院当時は、退院がなかなか見えてこなかったのですが、ハウスの部屋でゆっくり休めたので、心が折れないで看病生活を続けられたのだと思います。





シアトル・マリナーズ 岩隈久志

東北楽天イーグルス時代よりドナルド・マクドナルド・ハウスを応援しています。シーズンオフには、病気と闘っている子ども達を勇気づけられたらと「せんだいハウス」を訪問していますが、逆に頑張らなきゃといつも勇気づかれています。病気に立ち向かっている子ども達はみんな大きな夢を持っています。そんな子ども達の夢が叶うように、子ども達を温かく見守りながら支援し続けたいと思っています。

Seattle
Mariners




シンガーソングライター より子

私が2歳から5歳まで小児がんを患い闘病生活を送っていた頃、ドナルド・マクドナルド・ハウスがあったらどれだけ良かったでしょうか。闘病生活になると、家族は離れ離れになり、親も祖父母も兄弟も病気の本人も、それぞれの立場で葛藤を抱えます。特に子どもは、一番親と触れ合いたい時期に引き離されたら…。これ以上の辛いことはありません。家族が一つになっている状態は、私たちの想像以上にとても重要なことで、たくさんの愛情や安心感、絆の中で、病気の治療にも取り組めたらもっと良いのではないでしょうか。ドナルド・マクドナルド・ハウスのような闘病生活の中で家族も一緒にすごせるような施設が、日本にもっと、世界中にもっと出来るように願っています。





いっこく堂

病気のお子さんを支えるご家族…そのご家族を、やさしくサポートするボランティアの方々。ドナルド・マクドナルド・ハウスは優しい連鎖で繋がる、愛のある場所でした。そんな存在意義の大きな場所で、私もお手伝いができ皆さんと少しの時間ですが、一つになれた気がしました。私のパフォーマンスがどれだけの意味を持つのかはわかりませんが、その瞬間だけでも笑顔になってもらえるなら、腹話術師としてそんな幸せなことはありません。タイミングが合えばまたハウスで、皆さんと時間を共有したいと思います。





読売巨人軍 高橋由伸

読売巨人軍は、東京ドームの試合中に出たホームランの本数1本につき1万円をドナルド・マクドナルド・ハウス財団に寄付しています。このチャリティーアクションは2010年から続けており、今シーズンからは東京ドームでの巨人戦においてドーム内に募金箱が設置され、ファンの皆様にも寄付を呼びかけています。選手のホームランが病気と闘う子どもたちとその家族のためにあれば、これほど嬉しいことはありません。一人でも多くの子ども達の笑顔が見られるように、これからもハウスの活動に期待しています。


GIANTS

Financial Report

決算報告

正味財産増減計算書

一般正味財産増減の部

平成24年1月1日から平成24年12月31日まで (単位:円)				
	科 目	当年度	前年度	増減
経常増減の部	①財産運用収入 基本財産運用収入 特定資産運用収入	4,567,808 4,567,808 0	2,660,500 1,995,000 665,500	1,907,308 2,572,808 △ 665,500
	②ハウス事業収入 宿泊料収入 運営補助金収入 その他の収入	49,203,475 36,784,009 9,871,211 2,548,255	41,215,536 32,976,202 6,111,600 2,127,734	7,987,939 3,807,807 3,759,611 420,521
	③寄附金収入 寄附金収入 募金収入	346,674,463 182,995,059 163,679,404	240,293,306 128,245,565 112,047,741	106,381,157 54,749,494 51,631,663
	④会費収入	6,175,817	4,777,000	1,398,817
	経常収益計	406,621,563	288,946,342	117,675,221
	①事業費 1. ハウス事業運営費 給料手当 光熱水料費 租税公課 減価償却費 その他の経費 事業関連経費	235,104,610 232,907,510 68,900,431 31,467,563 20,532,640 64,049,142 36,292,607 11,665,127	192,075,460 190,930,880 61,232,881 7,667,550 24,347,195 11,466,600 55,749,385 34,355,019 3,779,800	43,029,150 41,976,630 41,976,630 7,120,368 9,066,040 8,299,757 1,937,588 7,885,327
	2. ボランティア事業 ボランティア助成費 旅費交通費 会議費	2,197,100 2,150,000 21,000 26,100	1,144,580 1,102,700 21,000 20,880	1,052,520 1,047,300 0 5,220
	②管理費 給料手当 旅費交通費 会議費 通信運搬費 減価償却費 消耗品費 印刷製本費 催事費 諸謝金 租税公課 雜費	53,746,065 10,365,444 2,492,929 3,573,098 688,275 1,790 1,652,244 16,590,036 2,672,250 10,096,479 1,247,100 1,177,900 6,761,618	52,394,257 8,920,255 △ 1,080,169 537,627 196,611 2,154,548 17,702,536 17,702,536 2,564,100 7,794,988 2,301,491 1,243,700 1,392,700 6,314,094	1,351,808 1,445,189 1,445,189 150,648 △ 194,821 △ 502,304 1,112,500 △ 1,112,500 108,150 2,301,491 3,400 △ 214,800 447,524
	経常費用計 当期経常増減額	288,850,675 117,770,888	244,469,717 44,476,625	44,380,958 73,294,263
経常外増減の部	(1)経常外収益 配当収入 有価証券評価益 その他収入	450,000 3,120,000 0	450,000 615,000 2,728,860	0 △ 2,728,860
	経常外収益計	3,570,000	3,793,860	△ 223,860
	有価証券評価損 指定正味財産への振替額	0 0	0 0	0 0
	経常外費用計	0	0	0
(2)経常外費用	当期経常外増減額	3,570,000	3,793,860	△ 223,860
	当期一般正味財産増減額	121,340,888	48,270,485	73,070,403
	一般正味財産期首残高	2,144,153,854	2,095,883,369	48,270,485
	一般正味財産期末残高	2,265,494,742	2,144,153,854	121,340,888

指定正味財産増減の部

一般正味財産からの振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	522,680,900	522,680,900	0
指定正味財産期末残高	522,680,900	522,680,900	0
正味財産期末残高	2,788,175,642	2,666,834,754	121,340,888

貸借対照表

平成24年12月31日現在 (単位:円)

	科 目	当年度	前年度	増減
資産の部	(1) 流動資産	現金 普通預金 郵便貯金 未収金 流动資産合計	2,433,811 54,955,346 12,080,985 0 69,470,142	2,826,146 94,711,131 11,937,881 0 109,475,158
	基本財産	基本財産定期預金 基本財産土地 基本財産合計	300,000,000 222,680,900 522,680,900	0 0 0
	特定資産	ハウス建設積立資金 特定資産合計	370,000,000 370,000,000	150,000,000 150,000,000
	その他の固定資産	建物 構築物 什器備品 ソフトウェア 電話加入権 建設仮勘定 定期預金 投資有価証券	1,753,062,804 10,791,377 23,775,150 3,700,209 76,440 441,000 0 34,275,000	211,710,796 △ 979,987 15,859,772 5,337,983 76,440 0 31,155,000 3,120,000
	その他の固定資産合計	1,826,121,980	1,884,678,136	△ 58,556,156
	固定資産合計	2,718,802,880	2,557,359,036	161,443,844
	資産合計	2,788,273,022	2,666,834,194	121,438,828
	(2) 固定負債	預り金 流动負債合計	97,380 97,380	△ 560 △ 560
	固定負債合計	0	0	0
	負債合計	97,380	△ 560	97,940
正味財産の部	① 指定正味財産 (うち基本財産への充当額)	522,680,900 (522,680,900)	522,680,900 (522,680,900)	0
	② 一般正味財産 (うち基本財産への充当額)	2,265,494,742 (370,000,000)	2,144,153,854 (150,000,000)	121,340,888
	正味財産合計	2,788,175,642	2,666,834,754	121,340,888
	負債及び正味財産合計	2,788,273,022	2,666,834,194	121,438,828

財産目録

平成24年12月31日現在 (単位:円)

	科 目	当年度	前年度	増減
資産の部	(1) 流動資産	現金預金 現金 普通預金 郵便貯金 流动資産合計	2,433,811 384,318 183,447 67,238 19,971	
	四国銀行高須支店	54,140,503		
	りそな銀行千里北支店	52,330 11,930 10,593		
	足利銀行自治医大出張所	54,140,503		
	三井住友銀行麹町支店	35,746		
	北海道銀行新川中央支店	9,270		
	多摩信用金庫西国分寺支店	12,080,985		
	東京都民銀行春日支店	12,080,985		
	あおぞら銀行本店 東京都世田谷区大蔵	69,470,142		
	② 特定資産	370,000,000		
(2) 固定資産	③ その他の固定資産	1,753,062,804 10,791,377 23,775,150 3,700,209 76,440 441,000 34,275,000 1,826,121,980		
	その他の固定資産合計	2,718,802,880		
	固定資産合計	2,788,273,022		
	(1) 流動負債	預り金 流动負債合計	97,380 97,380	
	正味財産	2,788,175,642		
	源泉所得税	97,380		

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法について
その他の有価証券 … 決算日の市場価格等に基づく時価法(売却原価は総平均法により算定)によっている。
- (2) 固定資産の減価償却について
建物、構築物、什器備品及びソフトウェア … 定額法によっている。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土地	222,680,900	0	0	222,680,900
定期預金	300,000,000	0	0	300,000,000
小 計	522,680,900	0	0	522,680,900
特定資産				
ハウス建設積立資金	150,000,000	220,000,000	0	370,000,000
小 計	150,000,000	220,000,000	0	370,000,000
合 計	672,680,900	220,000,000	0	892,680,900

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

科 目	当期末残高	(うち)定期貯蓄 (うち)一般貯蓄	(うち)負債に 対応する額
基本財産			
土地	222,680,900	(222,680,900)	0
定期預金	300,000,000	(300,000,000)	0
小 計	522,680,900	(522,680,900)	0
特定資産			
ハウス建設積立資金	370,000,000	0	(370,000,000)
小 計	370,000,000	0	(370,000,000)
合 計	892,680,900	(522,680,900)	(370,000,000)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	2,126,594,746	373,531,942	1,753,062,804
構 築 物	21,420,122	10,628,745	10,791,377
什器備品	85,251,897	61,476,747	23,775,150
ソフトウェア	12,552,440	8,852,231	3,700,209
合 計	2,245,819,205	454,489,665	1,791,329,540

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

名称ならびに交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
運営補助金 (RMHC)	0	4,023,111	4,023,111	0
運営補助金 (自治医大)	0	3,091,000	3,091,000	0
運営補助金 (吹田市)	0	2,757,100	2,757,100	0
合 計	0	9,871,211	9,871,211	0



役 職	氏 名	所 属
理 事 長	柳澤 正義	日本子ども家庭総合研究所 名誉所長
専 務 理 事	廣瀬 修	清泉女子大学 理事
常 務 理 事	島田 浩三	常勤
理 事	大野 晃 村上 陽一郎 鶴橋 誠一 有村 治子 ティム・ブレット 炭谷 茂 小関 誠 安田 智彦 好本 一郎	森永乳業株式会社 代表取締役会長 学校法人東洋英和女学院大学 学長 スター・ゼン株式会社 代表取締役会長 参議院議員 日本コカ・コーラ株式会社 代表取締役社長 社会福祉法人恩賜財団 清生会 理事長(元環境事務次官) AIU損害保険会社 代表取締役社長兼CEO フジパングループ本社株式会社 代表取締役会長兼社長 シミックホールディングス株式会社 執行役員・経営企画本部長
監 事	二村 隆章 吉野 賢治	公認会計士 公認会計士
評 議 員	西村 由美子 残間 里江子 ジェフリー・マクニール 宮田 佳代子 後藤 亘 大熊 由紀子 南 砂 佐多 保彦 桃井 真里子 佐藤 仁志 吉井 利夫	オーガストネットワークインク 代表 プロデューサー Market Makers Inc. 代表取締役社長 フリー・キャスター 株式会社エフエム東京 名誉相談役 国際医療福祉大学大学院 教授 読売新聞東京本社 編集委員 TKBグループ各社 代表取締役社長 国際医療福祉大学 副学長 日本マクドナルドホールディングス株式会社 取締役執行役員 日本マクドナルド株式会社 コーポレートリレーション本部 CSR上席部長
選 考 委 員	丸木 一成 堀口 雅子 栗山 真理子 阪井 裕一	国際医療福祉大学 医療経営管理学科 教授 虎の門病院産婦人科 元医長 NPOアレルギー児を支える全国ネット「アラジーポット」専務理事 国立成育医療研究センター 総合診療部 部長

Our Supporters

サポーター紹介

Gold Sponsor



Silver Sponsor



アクアクララレモンガスグループ 医療法人医仁会さくら総合病院



財団法人春日会足立病院 一般財団法人共済団

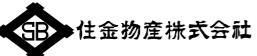


小出運送株式会社



医療法人三仁会

シオノギ社会貢献支援会



株式会社匠



株式会社ドリーム



株式会社ノモト

株式会社ビッグタイム

ヒロフーズ株式会社



株式会社富士エコー

株式会社フジカワ



有限会社ベルエキップ

株式会社豊昇



株式会社丸天産業



医療法人安間眼科

株式会社遊

株式会社リバーサイドコーポレーション

Bronze Sponsor

AQロジスティクス株式会社
Give Together Sabre·Infini
M·cplace
NPO 日本移植支援協会
UCC上島珈琲株式会社
医療法人愛精会あいせい紀年病院
愛知県医師会
愛知県耳鼻咽喉科医会
株式会社アクセア
株式会社アグレッシブスタッフ
旭化成パックス株式会社
アッヴィ合同会社
株式会社アドバンス
有限会社阿部内装
株式会社アムズ
株式会社アメリコ
株式会社アルゴ
有限会社アルファイン
井口クリニック
石井クリニック
一社アレルギー科こどもクリニック
伊藤整形 内科いち腰痛オペクリニック
伊藤ハム株式会社
医療法人岩山小児科
株式会社ウエル企画
株式会社ヴォイスワーク
有限会社ウノ・コーポレーション
エヌ・ティ・ティラーニングシステムズ株式会社
有限会社エムエスピー
一般社団法人岡崎市医師会
小川クリニック

おがわ内科クリニック
医療法人おひげせんせいのこどもクリニック
小山北ロータリークラブ
医療法人勝川医院
有限会社要製作所
川井郁子マザー・ハンド基金
絆を作ろう4-1
有限会社キノシタ
株式会社キャニオン・マインド
ギューピー株式会社
社会医療法人園仁会
クリティイーズ株式会社
株式会社アドバンス
有限会社阿部内装
株式会社アムズ
株式会社アメリコ
株式会社アルゴ
有限会社アルファイン
井口クリニック
石井クリニック
一社アレルギー科こどもクリニック
伊藤整形 内科いち腰痛オペクリニック
伊藤ハム株式会社
医療法人岩山小児科
株式会社ウエル企画
株式会社ヴォイスワーク
有限会社ウノ・コーポレーション
エヌ・ティ・ティラーニングシステムズ株式会社
有限会社エムエスピー
一般社団法人岡崎市医師会
小川クリニック

医療法人社団種光会朝山病院
医療法人常念会
白百合女子大学同窓会東海支部
医療法人すこやか会えまだこどもクリニック
医療法人成精会刈谷病院
ソニーPCL株式会社
大昭和紙工産業株式会社
大同印刷株式会社
有限会社高神不動産
株式会社タカラボージョン
たかレディースクリニック
医療法人社団橋会多度あやめ病院
株式会社電通
東讃興業株式会社
東京コカ・コーラボトリング株式会社
合名会社徳永商店
板木屋軽自動車協会
名古屋市中川区医師会会員一同
中津川市民病院職員一同
名古屋記念病院小児科A
医療法人名古屋栄クリニック
一般社団法人名古屋市医師会
名古屋記念病院小児科B
名古屋市小児科医会
名古屋市東区医師会
名古屋第一赤十字病院小児医療センター
名古屋大学医師会
株式会社三晃社
譲陽食品工業株式会社
株式会社ジェイアール
医療法人社団柴田医院

ニット株式会社
日本マッキン・フーズ株式会社
日本女医会愛知県支部
株式会社日本食糧新聞社
株式会社ニュートラル
株式会社布屋
のびのびこどもクリニック
羽賀糖尿病内科
株式会社パロマ
ひだかこどもクリニック
有限会社フォース
株式会社フォーティ・エス
福岡大同青果株式会社
フライングフィッシュサービス株式会社
プラジアン柔術道場トライフォース青山
医療法人北勢会北勢病院
北海道ランチャージドナルドハウスチャリティーゴルフ大会
有限会社ホット・ショット
医療法人松柏会国際セントラルクリニック
株式会社マルマサフード
株式会社明治
名鉄交通株式会社
メロディアン株式会社
もりもりこどもクリニック
やすい小児科
株式会社遊従業員一同
横山クリニック
読売巨人軍
理研ビタミン株式会社
ボランティアグループ「リフレッシュ」

Bronze Sponsor(個人)

Alejandro 水野	江崎 稔・奈緒子	小島 勢二	清水 誠司	鶴澤 正仁	平野 泰路郎	村山 慣
Joumonsugi	遠藤 繼亮	小嶋 哲人	新家 正美	富永 恵夫	深堀 圭一郎	毛受 昇
Tim Chou	大島 伸康	小嶋 雅代	杉浦 叶夏帆	中浦 雅子	藤井 康生	毛受 雅文
Yuto Rice	太田 美鈴	後藤 重己	杉浦 ミドリ	仲尾 義治	藤江 博子	森島 正宏
青嶋 努	大原 敏	後藤 宗理	杉原 彩可	長田 さち子	藤田 武志	森田 純子
青山 正晴	小笠原 友喜	後藤 志歩	杉山 敏	中根 藤七	藤巻 英彦	森 智弘
秋重 泉	岡田 雅子	後藤 恒規	鈴木 恵美子	中野 詳子	藤本 将大	森 征夫
浅田 英子	岡田 純一	小林 清司	鈴木 信子	中村 陽一	二木 良夫	矢澤 武
東 慶輝	小川 昭正	小林 達也	鈴木 信寛	夏目 淳	古根 淳	安江 慎之助
阿部 康夫	小川 涼太	小林 墓都	鈴森 秀男	名和 江莉花	不破 一郎	山内 一信
新井 伊佐男	小川 優	五味 悠一郎	関島 誠一	西尾 信博・あい	北條 泰男	山川 明美
有賀 和義・実帆・心希	長 隆	子安 静	瀬谷 雅行	根来 民子	北東 哲也・美苗・澪	山口 晴義
石川 直	小澤 洋子	樺田 隆実	園田 三男	野崎 拓也	星野 紗羽	山崎 博之
石黒 よし子	柄本 美彩子	近藤 大貴	祖父江 逸郎	野島 精二	星野 臣平	山崎 瑞生
石黒 直樹	槽谷 類子	斎藤 乾一	高津 優子	野田 真子	山田 紘平	山田 紘平
磯村 巖・香里	片岡 正敏	齊藤 伸治	高野 浩司	中野 圭樹	山中 鈴成	
伊藤 隆	可知 常昭	坂井 克彦	高野 英悟	野村 幹行	山野辺 裕二	
伊東 重光	加藤 将	桝原 久孝	高橋 義行	前原 恒之		
伊藤 美春	加藤 京子	酒巻 伸次	渡 智朗	松尾 清一		
伊藤 嘉規	加藤 英子	佐々良 次	萩原 康介・亜悠美	萩原 淳子		
井上 幸次	加藤 文子	佐々木 雄太	橋本 良男	松金 清子		
井口 淑子	川上 あづさ	佐々木 雄太	秦 誠宏	松下 裕秀		
今井 勝	河瀬 良三	鈴是 俊夫	田口 永遠	松本 順子		
今井 民也	河邊 太加志	佐多 保彦	竹内 久雄	松元 優子		
磐城 正代	川野 靖典	佐藤 明	竹内 三男	三浦 清邦		
岩瀬 幸充・貴美子・天花	川本 英三	佐藤 篓子	田代 靖尚	三井 崇		
岩根 悠里	北田 善保	佐藤 義朗	田中 真己人	見松 健太郎		
植田 泰正	木村 宏	佐分 晴夫	田中 寿幸	宮川 遼弘		
上田 龍三	工藤 寿子	鹿野 知子・剛生	原田 沢幸	吉村 明夫		
牛山 嘉一郎	栗原 学	柴田 元博	宮崎 菜々華	若林 俊彦・みどり・伸彦		
鶴橋 誠一	小泉 清則・雅子	玉井 宏明	宮下 建治	和田 光康		
宇津野 陽子	小出 昌生	島津 達雄	宮田 隆司	渡辺 政弘		
宇野 裕	小出 直哉	島田 明	津田 克也	村井 遼		
		島田 浩三	筒井 陽子・佳美	村瀬 聰美		
		津村 治男	平田 亮	村田 雅夫		
			平野 秀夫	村松 秀城		

(50音順)



公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン
〒163-1339 東京都新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー39階
TEL:03-6911-6068 FAX:03-6911-6198
www.dmhcj.or.jp

